

## 環境を守る農業宣言

### 【グリーンコープの農業政策】

- ① 農業を評価する。
  - ・農業を正當に評価し、誇りのもてるものにする。
- ② 農業が継続できる政策をすすめる。
  - ・グリーンコープとして、産直生産者が農業を継続できるようにする。継続的に取り引きし、一定の収入を得られるよう、双方で考えていく。
- ③ 食料の国内自給の確保をはかる。
- ④ 気候・風土にあった農業をめざす。
- ⑤ 複合農業、地域複合型農業をめざす。
  - ・生産者が複数の作物を創意工夫によって生産できる農業にしていく。
  - ・地域全体で、複合的な循環型農業をめざしていく。

グリーンコープは1988年に発足しました。産直を大切に、生産者とともに日本の農業を守るという根幹の考え方を基本にしています。

具体的には、青果物は原則として産直とし、生産者と消費者が顔の見える関係で、おたがいの信頼の上に立ち、生産者にとっては農業が安定して続けられ、組合員にとっては安心して生産物が購入でき、共に農業を守る立場で提携しています。

取り引きは農業が継続可能になるように、複数品目の取り引きを考えたり、生産物の価格については、再生産を保証する価格を原則としています。これは市場価格などに左右されず、シーズン統一価格またはシーズンを通して再生産可能なようにあらかじめ確認された価格にするということです。

生産者は自らの創意工夫により、より安全な生産物を提供し、組合員はその生産物をできるだけ無駄にすることのないよう購入していくことで、いっしょに日本の農業を支える努力をしています。

特に米など数品目については、生産者が安心して農産物を作っているように予約制度をとっています。これにより生産者は計画的に作業をすすめることができたり、収入の予測ができることから安定した農業経営に役立っています。

「環境を守っているのは生産者、その生産者を守っているのは産直だけ」との認識の上に、環境を守る農業を共に守っていくように、買い支えることでわたしたちの意思表示をしていきたいと思ひます。

宣言者 グリーンコープ生活協同組合

宣言第 0721001 号として受理しました。

島根県知事 溝口 善兵衛

